



# Der Brückenpfeiler

2024年5月

Der Brückenpfeiler は「橋脚」という意味のドイツ語です



公益財団法人 日独協会 情報紙  
Japanisch-Deutsche Gesellschaft  
2024年5月1日発行（不定期発行）  
編集責任：柚岡一明（編集長）公益財団法人 日独協会  
〒160-0016 東京都新宿区信濃町 18-39 マヤ信濃町 2 番館  
Tokyo, Shinjuku-ku, Shinanomachi 18-39, Maya Shinanomachi Nr. 2  
TEL 03-5368-2326/FAX 03-5368-2065  
Website : <http://www.jdg.or.jp> Mail : [jdg@jdg.or.jp](mailto:jdg@jdg.or.jp)

## 日独協会からのお知らせ

### \* 2024(令和6)年度 個人維持会員継続のお願い

今後も魅力ある活動と集いの場を提供できるよう努めて参りますので、まだ新年度の個人維持会費を納入いただけていない方は、引き続きご支援くださいますようお願いいたします。2023年度末をもって退会されたい場合は、お名前と会員番号、退会希望の旨を書面（郵便、FAX、E-Mail）にてお送り下さい。なお、新年度の年会費が一定期間納入されない場合は、会報誌の送付を一時停止いたします。

### \* 協会ウェブサイト リニューアル

昨年、日独協会のウェブサイトのセキュリティを強化するために、サーバー会社を変更しました。それに伴い協会サイト内のいくつかのページが表示されなくなり、リンクが切れるなどの不具合が生じています。現在進めているウェブサイトのリニューアルが完了し、新サイトに移行する夏頃にはこうした不具合も改善される予定です。しばらくお待ちいただきますようお願いいたします。

### \* 2024年度 ドイツ語講習会上半期コース開講中

4月から協会のドイツ語講座の新学期が始まりました。ほとんどのクラスがオンラインでの開催です（一部対面開催のクラスもあります）。ドイツ語ネイティブと日本人の教師がおり、それぞれの良さを活かした授業を行っています。月ごとにテーマが変わる「学問のための基礎ドイツ語」クラスは、1か月単位での参加が可能です。授業体験・学期途中からの参加については事務局にご相談ください。

### \* 研修生交代

ダヴィット・マイヤーさんの研修が3月末で終了し、ダヴィットさんはドイツへ帰国されました。大学に戻って卒業論文を書かれるそうです。

4月1日からは、高山フロリアンさんが研修を行っています。フロリアンさんは9月末まで研修予定です。どうぞよろしく願いいたします。（フロリアンさんのインタビューを本誌6ページに掲載しています。）



ダヴィット・マイヤーさん(左) 高山フロリアンさん(右)

## レポート

### 2024年ドイツ語春期講習会

#### Intensivdeutschkurs im Frühling

3/2～3/30 / Sa., 2. 3. 24.- Sa., 30. 3. 24.

毎年恒例となった春期のドイツ語短期集中講座を今年も開催しました。3月に入ってから1か月の間に12の講座が行われました。1つの文化セミナー以外は全てオンライン開催。どのクラスも事務局の担当スタッフと講師が「どうしたら効果的に学んでいただけるか?」「楽しんで学んでいただけるか?」を真剣に考え、打ち合わせを重ねて企画しました。特に強化したい技能を集中的に訓練する講座や、特定のテーマに特化した講座・イベントが行われ、参加者の皆さんが熱心に取り組まれているのが印象的でした。これからドイツ語学習を始める方のための入門クラスもあり、アルファベットの読み方からじっくり学ばれていました。4日間の授業を受ける前と後では全く違うドイツ語世界が見えたのではないのでしょうか。

講習会後のアンケートで参加者からいただいた感想の一部をご紹介します（カッコ内は参加クラス）。概ねポジティブな感想をいただきましたが、一部、授業の内容や時間に関して改善を希望するご意見もいただきました。いただいたご意見で対応可能なものに関しては、今後の運営に活かしていきたいと思っております。

- 自分の発音の癖をアドバイスいただいたところは、これから役立つと思います。文アクセントのお話やドイツ語の話し方の流れについても勉強になりました。（めざせ、スッキリハッキリ発音美人！2）
- 説明がわかりやすくすぐ勉強になった。インプットとアウトプットの時間配分のバランスがとても良く、たくさん練習することで文法が頭に残った。また先生の雰囲気もとても良いなと思いました。（文法×会話～インプット&アウトプットのドイツ語～）
- （伝えたいことを）どのように簡単な文章にするか詳しい説明があったので、どうすればいいのかわかってきたことが収穫でした。（ワークショップ“8割伝える”からのコミュニケーション）
- ドイツの近現代史に関する言葉を選びすぐって教えていただいた。／ドイツ語の文章をもっと読みたい、読めるようになりたいと思いました。（ドイツ語知識ゼロでもOK！ドイツ史キーワードで学ぶ歴史とドイツ語）



- 実際にドイツ人が使う言い回しを教えて下さり、アドリブも交えて会話練習もできたので有意義でした。／授業は主にフレーズの独訳と暗記なので「リスニング力アップ」に繋がるかは疑問があった。（Sprechen! Sprechen! Sprechen! 会話&リスニング力集中アップ！中級編）
- 先生の経験を踏まえた内容が魅力的で「どうにか聞き取りたい」という気持ちが高まり、取り組みやす

かった。ディクテーションの独習方法のアドバイスも大変参考になった。（集中特訓！体育会系ドイツ語部 Diktat 中級編）

- ビジネスで使用するフォーマルな表現を新しく知ることができた。暗記した文章は自分の仕事において、メールを中心に、稀にある電話対応にも実際活用できると感じた。（Sprechen! Sprechen! Sprechen! 会話&リスニング力集中アップ！ビジネス編）
- 初めてドイツ語に触れる私でも、聞き取りやすく話していただきました。（アーベーツェー（ABC）からご一緒に！）



- ガイド本では知り得ない、求めていた今のウィーンについてお話を伺えたことと、国家公認ガイドの資格はどのように取得できるのかについて知ることができた。（オーストリア国家公認ガイドが教える、楽しいウィーンの歩き方）
- 先生のこだわりポイントについての説明が面白すぎて画面の前で爆笑の連続でした。具体的な情報満載で、想像以上に楽しくしかも役立つ講座でした。（ドイツの今 第10弾～安くドイツを旅するための実用・非実用テクニックのすべて～）
- わずかが合計5時間弱で、いろんな視点からの話を伺えたことと、政治だけを切り離すのではなく党員の傾向なども聞けて、よりじっくり来ました。（2024年のドイツ政治、ここに注目！）

## ドイツ語講習会

2023年度下半期コース

火～日曜日

Deutschkurse in der JDG

Oktober 2023 - März 2024

jeden Di.-So.

シュプラッハクナイペ

3/8 (金) 19:00～20:30

日独協会セミナールーム

Sprachkneipe

Datum: Fr., 8. 3. 24, 19.00-20.30

Ort: Seminarraum der JDG



参加者 9 名。テーマは「アニメでドイツ語を学ぼう！」でした。担当のダヴィットさんがアニメ好きなことから、このテーマとなりました。まずはじめの参加者の自己紹介の際にも「Ich mag / Ich lese gern / Ich schaue gern」などの表現を使って自分が好きなジャンルや作品を紹介してもらいました。それからダヴィットさんがこれまで見てきた日本のアニメを紹介してくれました。最近では、アニメのタイトルはドイツでは英語版が使われることが多いそうで、「鬼滅の刃」は Demon Slayer、「進撃の巨人」は Attack on titan となっているそうです。

それから、ドイツ語版の「アルプスの少女ハイジ」、「名探偵コナン」、「千と千尋の神隠し」の中から短いシーンを皆さんに見せて、そのセリフを解説して皆さんと発音してみました。日本語版とドイツ語版の「ハイジ」を比べてみると、日本語のセリフとドイツ語のセリフでかなり違っていることもわかり興味深かったです。また、キャラクターの名前はほとんどが日本語と同じですが、「カオナシ」のような意味のある名前はそれがわかるように「Ohngesicht」と訳されているのも面白く感じました。熱心に参加くださった皆さん、念入りに準備をしてくれたダヴィットさん、ありがとうございました。(菊池 菜穂子)

ドイツ語圏文化セミナー158「オーストリア国家公認ガイドが教える、楽しいウィーンの歩き方」

3/9, 3/16 (土) 15:30～17:30

Seminar 158: Ein Spaziergang durch Wien mit einem staatlich lizenzierten Reiseführer

Datum: Sa., 9. 3. 24., 16. 3. 24., 15.30-17.30

ウィーン在住のオーストリア国家公認ガイド・今井謙さんを講師に迎え、2回にわたって開催された本セミナー。今井さんは10年来の協会会員でもあり、学生会員としてイベントに参加して下さっていた今井さんが、今回、講師として協会の活動に協力して下さることは感慨深いものがあります。

セミナー1日目はウィーン初心者向けの王道観光ポイント、2日目は中上級者向けに今流行っているものやマニアックな情報を紹介して頂いたのですが、定番の観光スポットについても歴史的背景など新しく知ることばかりで、まるで初めて訪れる場所のように新鮮な気持ちで聞き入ってしまいました。ミュージカルのヒットなどにより、日本でも知名度が高いオーストリア皇妃エリザベートに比べて、夫の皇帝フランツ・ヨーゼフ1世は影が薄い印象ですが、今のウィーンの礎を築いた最大の功労者であり、当時も今もオーストリアの人に慕われていることなど大変興味深かったです。

旅慣れた地はひとりで観光を楽しめると考えがちですが、今回のセミナーを通じて、ウィーンに限らず、むしろ何度も訪れた経験と知識のある中上級者こそ、プロにガイドしてもらうことでさらに理解が深まり、見逃していた魅力を発見できるなど、密度の濃い旅を体験できて良いのではと認識を新たにしました次第です。

(宮本 周子)

ドイツ語圏文化セミナー159

「2024年のドイツ政治、ここに注目！-『スーパー選挙イヤー』の政党と世論の動向-」

3/15, 3/22 (金) 19:00～21:00

Seminar 159: Deutsche Politik im Jahr 2024, worauf zu achten ist!

Datum: Sa., 15. 3. 24., 22. 3. 24., 19.00-21.00

参加者 25 名。今年はヨーロッパ議会選挙やザクセン、テューリンゲン、ブランデンブルク州議会選挙といった、ドイツの今後を大きく左右する「スーパー選挙イヤー」とも称される重要な選挙が予定されています。そこで、昨夏『ドイツ社会の矛盾が生み出した AfD とは?』に登壇いただいた高島亜紗子先生と小野竜史先生に、今回はドイツの国内外の最新情勢、特に選挙に関する動向についてお話いただきました。

現状については、ウクライナでの戦争や、イスラエル・ハマス紛争に対してドイツがどのような姿勢を取り、支援を行うのか、また、他の EU 加盟国でも極右・極左政党が勢力を伸ばしていることや、それらの政党の主張などについて解説していただきました。ドイツ国内では、親パレスチナ運動、一定の割合以上の再生可能エネルギーを使用することが義務づけられた暖房法をめぐる議論、補助金廃止（後に一部撤回）に対する農家の抗議運動、AfD や CDU の議員らが参加した会合で「Remigration（＝極右派の間では「外国

人の送還だけではなく、移民の背景を持つドイツ人の「追放」の意味合いもある)が協議されたとの報道を受けて大規模な反右翼デモが繰り広げられるなど様々な動きがあり、こうした国内情勢が今後の選挙にどのように反映されるか、そしてその選挙結果がもたらす影響についても注目されるとのことでした。

参加者からは「そもそも州議会選挙とはどのような仕組みか」「ドイツでは、イスラエル・ハマス紛争をどうとらえているのか」「なぜ極左・極右に支持が集まるのか」「アメリカ大統領選挙がドイツに与えるであろう政治的インパクトについて」といった質問が数多く寄せられ、講師陣にはそれぞれの見解を丁寧に解説していただき、ドイツが直面する複雑な政治的状況と国際的な課題についての理解を深める貴重な機会となりました。(宮本 周子)

### ドイツ時事問題研究会 第97回

3/16 (土) 15:00~17:00

#### Studiengruppe "Deutschland aktuell" (97)

Datum: Sa., 16. 3. 24, 15.00-17.00

「当月のトピックス」では、①巡航ミサイル「タウルス」の対ウクライナ供与に否定的な政府を野党が追及する中でドイツ空軍幹部の打ち合わせ内容がネットに流出した問題、②ベルリン郊外のテスラ電気自動車製造工場の拡張に反対して送電塔を破壊したグループに極左勢力が多数加わっていた問題、③主要経済研究所が2024年の成長率見通しを0.2%に引き下げたこと、④財政事情の悪化を背景に社会保障制度をめぐる議論が高まったことなどを報告し、質疑応答を行った。

「今月のテーマ」では、「汚職・腐敗と闘う国際NGO」と題して新井氏から Transparency International の報告を紹介し、ドイツや日本の位置づけのほか、同じ行為であっても国によって是非の判断が異なる場合があることなどについて議論した。

最後に伊崎からドイツの作今の政治・経済情勢についてデータに基づいて概況を報告した。

(伊崎 捷治)

### シュプラッハトレッフ (日独言語交換会)

3/16 (土) 19:00~20:40

#### Sprachtreff

Datum: Sa., 16. 3. 24, 19.00-20.40

参加者約40名。ダヴィットさんが研修生として担当する最後の会となりました。

このイベントでは、同じくらいのレベルの方、近い世代の方がなるべく一緒にグループになるように、会話時の小グループのメンバーを決めています。申込者の方々のレベルや年齢層の分布が偏ってしまうこともあり、なかなか理想のようにはいきません。また、日本語とドイツ語である程度意思疎通ができるボランティアスタッフの方々に小グループのモデレーターとしてお手伝いいただいておりますが、全員に毎回お手伝いいただけるわけではなく、担当者がモデレーターを

集めるのに苦労することも多いです。もし、協会会員の方で、ご自身のドイツ語力を使ってモデレーターとしてこの会をお手伝いしたいという方がいましたら、ぜひ事務局までご一報ください。

今回の事後アンケートでは「ドイツの方々二人が住んでいる地域に興味があり、質問をすることができました。」「上級レベルであっても取り仕切るコーディネーターが必要。」「トピックを見つけるのに少し時間がかかったけど、すぐに話が弾んでとても楽しかった!」といったご意見をいただきました。

### 懇談会サロン

テーマ: 聖書考古学とパレスチナ/イスラエル

3/18 (月) 18:00~19:30

日独協会セミナールーム

#### Gesprächsalon

Thema: Biblische Archäologie und Palästina/Israel.

Datum: Mo., 18. 3. 24, 18.00-19.30

Ort: Seminarraum der JDG

講演者: 聖公会神学院専任教員 山野貴彦先生

参加者 14名

講演要旨: 下記の4点を基にお話を頂いた。山野先生は過去9回にわたりエルサレムでシナゴグの発掘・調査に参加されています。

- ・ドイツにおける聖書考古学(下記註1、2)の伝統
- ・日本発掘調査隊のガリラヤ地方テル・レヘシュ遺跡発掘調査
- ・イスラエル考古学の政治的問題点(下記註3)
- ・エルサレム巡礼研修とユダヤ人とパレスチナ人協働の可能性

註:

1. 聖書考古学とは: 発見としての考古学、破壊としての考古学

発掘調査は表土を除去し、掘り進め、様々な不確定要素を取り除いて床面や壁などを出土。その過程で二度と同じ状態には戻せない作業。考古学は発見を目指す学術行為であるが、破壊的でもある→記録の重要性

2. ドイツにおける聖書考古学の伝統

19世紀における欧米の考古学の発達

シュリーマンのトロイ遺跡/アメリカ・イギリス・ドイツの南レヴァント発掘/フランシスコ会の聖地発掘

3. イスラエル考古学の光と闇

世界三大宗教の聖地の過去の姿を明らかにし、歴史の源流となる考古遺跡・遺物を明示する。(佐藤 勝彦)

### 独逸塾

3/18 (月) 19:00~21:00

Gesprächskreis: Neuigkeiten aus Deutschland

Datum: Mo., 18. 3. 24, 19.00-21.00

参加者 22名

1. テキスト: 2023年12月5日の Deutsche Presse-Agentur(dpa)の記事 Neuer Pisa-Schock

1) コロナ後の 2022 年実施された PISA (15 歳の学童対象にした国際学力テスト。読解力、数学、自然科学が対象) でドイツの学童の成績が 2019 年比で大幅に低下し議論を巻き起こしている。数学の点数は 475 (2019 年 500)、読解力 480 (2019 年 498)、自然科学 492 (2019 年 503)。成績が後退した国は OECD 諸国では少なく、ドイツ、ポーランド、ノルウェー、アイスランドのみ。

## 2) 原因の分析

A) コロナ禍での学校閉鎖による遠隔授業 (オンライン授業) でデジタル化が遅れているドイツでは、生徒への印刷物の教材の供与がデジタル教材を上回った。

B) ドイツ語教育が不足している。

移民者へのドイツ語教育が十分整備されていない。移民者が既にドイツ語をマスターしていることを前提とすべきでない。

C) 数学に関しては、今回のテストでは移民の背景のないドイツの学童の学力低下が、移民の背景を持つ学童に比べてさらに激しく低下している。

2. テキスト: 2023 年 12 月 5 日 Zeit Online の記事  
**Experten fordern "endlich einen Pisa-Ruck"**  
専門家たちは学童へのドイツ語サポートが早期の段階から必要で、見直す必要があると述べている。  
ドイツ語の表現で色々議論があった。(森永 成一郎)

## ドイツ語圏文化セミナー160

「ドイツの今 第 10 弾 ~安くドイツを旅するための  
実用・非実用テクニックのすべて~」

3/30 (土) 15:30~18:30

日独協会セミナールーム (ハイフレックス開催)

**Seminar 160: Deutschland jetzt, Vol. 10**

**„Alle praktischen und unpraktischen Techniken,  
um in Deutschland günstig zu reisen“**

Datum: Sa., 30. 3. 24, 15.30-18.30

Ort: Seminarraum der JDG

参加者 70 名。これまでは柳原先生がドイツ滞在時にオンラインでドイツと繋いで開催していましたが、今回は先生の帰国直後に協会で開催、ハイフレックス形式で会場とオンラインどちらでも参加できるようになりました。3 月にミュンヘンに行かれた東京女子大学の学生さんお二人にも先生と一緒にご登壇いただき、実

際にドイツで体験したことや感じたことをお話しいただきました。

今回のテーマは、安くドイツを旅するためのテクニック。「49 ユーロチケット」、「ジャーマンレイルパス」などの特別パスの利用法や注意点、鉄道の旅の裏技などをお話しいただきました。「ジャーマンレイルパス」は、今はスマホアプリになっており、ドイツ入国後も購入可能と更に便利になっているようです。

興味深かったのは、現地のおいしいパン屋・レストランの見分け方でした。これは先生ご自身がたくさんのお店を訪問する中で体得した方法で、要はお店が「良いサービス、味を提供するのに努力をしているか」をどこで見分けるかということです。(セミナー参加者への特典ということで、具体的な内容については、ここでは控えさせていただきます)。

参加者からもたくさんの質問が寄せられました。最後に、恒例の「もらっても微妙な気持ちになるドイツのお土産抽選会」を開催し、大いに盛り上がったところで終了。今回のセミナーが皆さんの次のドイツ旅行に役立つことを祈っています! (菊池 菜穂子)



## 青梅でぶらドイツ

3/31 (日) 11:00~16:00

**Buradoitsu in Ome (Ausflug)**

Datum: So., 31. 3. 24, 11.00-16.00

このイベントのレポートは 6 月号の Die Brücke に掲載予定です。

※会場が書かれていないイベントはオンラインで開催されました。

## 会報誌 Die Brücke への投稿募集!

今年はドイツ連邦共和国の建国 (1950 年) から 75 周年という節目の年に当たります。協会会報誌 Die Brücke では、主に東西分断時代のエピソード (当時の滞在の思い出など) を中心とした会員の皆様からの投稿記事を複数回に分けて掲載する企画を予定しています。300 文字以内で協会のメールアドレス [jdg@jdg.or.jp](mailto:jdg@jdg.or.jp) へ、または右の QR コードを読み取って専用投稿サイトからお送りください。メールの場合は件名を「会報誌投稿」とし、必ず氏名をお書きください (誌上での掲載名はイニシャルでも可)。なお、全員の投稿を掲載できない可能性がある点を予めご了承ください。





## 新研修生、高山フロリアンさんインタビュー

4月から高山フロリアンさんが協会にて研修をしています。フロリアンさんとお話していると、たくさんのユニークな経験を持ち、多趣味なことに驚かされます。今回は、そんな引き出しの多いフロリアンさんにインタビューしました。



### 名前

3月に日本人と結婚し、苗字が「高山」となりました。妻の家は江戸時代からの歴史があり、今の代では跡取りが妻しかいなかったため、家を守るために私が婿入りしました。ちなみに妻の父も祖父も婿入りしたそうです。

### 出身

ベルリン東部、トレプトウ＝ケーペニック地区のBaumschulenwegという地域で生まれ育ち、日本に留学した2年前までずっとそこに住んでいました。この地名には「植物園への道」という意味があります。プロイセンがベルリンを首都にした時に、この地域に植物や木の苗を育てる園芸場が作られたのが由来です。いまでもSchrebergartenと呼ばれる市民農園がたくさんあります。実家のアパートから50mのところにある農園があり、祖父母が長いことそこに住んでいました。

### 趣味・関心

**養蜂**：14歳ごろに学校の部活動で、指導者を招いて養蜂について教わる機会があり興味をもちました。それで、ベルリンのImkerverein Neuköln（ノイケルン養蜂家協会）に入って活動し、厳しい審査項目を通った蜂蜜だけに許されるEchter Deutscher Honig（本物のドイツ産蜂蜜）のラベルで出荷できるようにまですました。ベルリンで作られる蜂蜜は菩提樹の物が多いんですよ。

**コーヒー**：コロナの時においしいコーヒーの淹れ方をYouTubeなどで独学し、それから喫茶店に通ってオーナーの方と情報交換して知識を深めました。岡山に留学していた時にコーヒーの道具が増えたので、それらを使って自分以外の人にコーヒーをご馳走したいと思い、レンタルスペースを借りて自分のカフェを1日だけオープンしました。友人だけでなく、普通のお客さんも来てくれたのがうれしかったです！

**ドイツパン作り**：日本に留学していた時期（2022年）にドイツパンを食べられず、自分で作りたいと思うようになりました。ドイツに帰ってから友人にパン作りの本を借りて自分で



パンを焼き始めました。パンは急いでは作れません。じっくり発酵させる時間、心がとても落ち着きます。

**三味線**：三味線デュオ、吉田兄弟の演奏をPodcastで偶然見つけて聞いてみて、とても良いと思いました。2018年の9月から翌年5月まで日本でワーキングホリデーをしたのですが、三味線は高価で買えません。ベルリンに帰ってから、日本文化のイベントでベルリンの三味線グループの演奏を聞いて、メンバーになり一緒に活動をしました。最初は三味線を借りていたのですが、一人のメンバーが引越した際に買い取ることができました。今回も日本に自分の三味線を持ってきました。

**食**：ビーガン（完全菜食主義者）です。

（事務局註：フロリアンさんはよく手作りのお弁当を持参しています。フロリアンさんの手作り弁当は協会のInstagramのストーリーに不定期に投稿していますので、興味のある方はぜひ見てみてください。）

### 日本への関心

16歳のころ、自分のクラスに日本からの留学生が来ました。最初、彼はそんなにドイツ語ができなかったので、自分も日本語で少し話したいと思い、アプリを使って学びはじめました。また、ARTEというテレビ局がよく戦国時代についてのプログラムを放映していて、戦国大名に興味を持ちました。高校卒業後、ワーキングホリデーで念願の日本に来ました。高校時代に日本語を独学していましたが、来日当初はあまり話せませんでした。ワーホリ時には、北海道の農家で長ネギを作ったり、山口のホストファミリーの家事を手伝ったり、高知の旅館で働いたりしました。その後、日本で知り合った人たちと4人で、レンタカーで東京から鹿児島、そこから青森まで日本各地を旅しました。帰国するころには日本語で会話ができるようになっていました。

帰国後、もっと日本や日本語を学びたいと思い、2019年9月にベルリン自由大学の日本学科に入学しました。コロナ禍の間、授業がオンラインになったり、日本への留学が遅れたりしましたが、そのおかげでベルリンに留学しに来た妻に出会うことができました。2022年4月から1年、岡山大学に留学しました。留学時代は授業の一環で「桃太郎祭り」の運営に参加したりして充実していました。

### 日独協会の研修中にやってみたいこと

日独協会なので、ドイツのことだけでなく、日本に興味を持つドイツ人に日本の紹介もしたいです。歴史が好きなので、東京の歴史散歩などができたら面白そうですね。また、ドイツのパン文化を紹介するイベントを開催したいです（5月に開催予定・8頁参照）。

### 会員へのメッセージ

イベントなどで皆さんに会えるのを楽しみにしています。企画するイベントに来ていただけたらうれしいです。半年間どうぞよろしくお願ひいたします。

(公財)日独協会が開催する催物のご案内です。申込方法は次の通りです。

- ① 会場の記載のないものは ZOOM を使用したオンライン開催となります。
- ② 事前申込制・先着順の受付となります。
- ③ 日曜日、月曜日は受付作業、お問合せ等の対応はできませんので、あらかじめご了承ください。

※ いただいた個人情報はイベント開催に関する手続き以外には使用いたしません。

日独協会の概要及び催物最新情報はホームページでもご覧頂けます。 ■ <http://www.jdg.or.jp>

問合せ E-mail : [jdj@jdg.or.jp](mailto:jdj@jdg.or.jp) Tel. : 03-5368-2326 (受付時間 月～金 14:00～17:00) Fax. : 03-5368-2065

#### ◇ドイツ時事問題研究会◇

日時：2024年5月18日(土) 15:00～17:00 申込期限：開催2日前まで 会費：無料

テーマ：毎回参加者の提案をもとに次回のテーマ(複数可)を決定 定員：20名

世話人：伊崎 捷治理事、新井 俊三氏

申込み：事前にメールで参加申込みをいただいた方に世話人から「招待」メールをお送りします。

世話人連絡先 Tel. : 080-1137-5111 E-mail : [isakis\(a\)snow.ocn.ne.jp](mailto:isakis(a)snow.ocn.ne.jp) ※ (a)は@に書き換えて下さい

参加者がドイツの政治、経済、社会などの分野で関心を抱いた事柄やテーマを持ち寄り、相互の情報交換やディスカッションを通じて経緯や背景を探り、日本との比較も踏まえながらドイツの現状や動向について理解を深めます。これまでに難民問題、エネルギー問題、日独の生産性の違いなどについて議論しましたが、これからはコロナ危機の克服、経済再活性化、ドイツがEUの強化や持続可能な発展などに果たす役割など、ホットなトピックスを探りあげていきます。

#### ◇Sprachtreff (シュプラッタハトレッフ) ◇

日時：2024年5月18日(土) 日本時間 19:00～20:40 ドイツ時間 12:00～13:40

担当：高山 フロリアンさん、芦野 淳子さん

会費：(公財)日独協会会員：無料 / 一般：2,000円 定員：40名程度

参加条件：言語交換を積極的に楽しみたい方(目安レベル：A1.2以上)

申込み：協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込みください。

Sprachtreff はオンラインで開催している日独言語交換会です。レベルごとに少人数のグループに分かれて日本語とドイツ語で40分程度ずつおしゃべりをします。(上級はテーマと言語の時間指定はありません)。また、B1レベルまでのグループにはモデレーターが付き会話をサポートしますが、ご自身で話題や質問の準備をしてきていただくと、より楽しい会になりますよ。

#### Sprachtreff にグループ・モデレーターとして参加しませんか？

5名～8名の小グループに分かれて日独語学交換する際の、各グループのモデレーターを募集しています。モデレーターの方には、グループ会話の際のタイムキープング、日本語とドイツ語での会話サポートをいただいています。モデレーターとして参加することで、他の参加者との交流の機会が一層多くなり、学ぶことも多くあるでしょう。関心のある方は、まずは協会事務局までお気軽にお問合せください。

#### ◇(対面)懇談会サロン テーマ「ドイツで取得した博士号(Promotion)と教授資格(Habilitation) ◇

日時：2024年5月20日(月) 18:00～19:30

会場：日独協会事務所内セミナールーム 会費：無料

講師：江村 牧人氏(元ハノーバー医科大学教授)

世話人：佐藤 勝彦氏(日独協会理事)

申込み：お名前、(公財)日独協会の会員番号、メールアドレス、電話番号を記入の上、世話人の佐藤理事までメールでお申込みください。世話人連絡先：[s-kmtaym\(a\)nifty.com](mailto:s-kmtaym(a)nifty.com) ※ (a)は@に書き換えて下さい

ドイツ・ハノーバー医科大学における学位(博士号)取得(Promotion)と教授資格取得(Habilitation)についてお話していただきます。取得については各地方や大学間、専門分野によっても違いがあるようですが、共通部分も数多くあるようです。両方の称号取得のための手続きや取得人数についてもご報告頂きます。

#### ◇独逸塾：「ドイツのニュースを楽しむ会」◇

日時：2024年5月20日(月) 19:00～21:00 (18:30からオンライン上で開場)

申込期限：開催前週の金曜日まで 会費：無料

世話人：森永 成一郎氏

申込み：新規参加希望の方は、会員資格の有無、メールアドレス、電話番号を記載の上、協会([jdj@jdg.or.jp](mailto:jdj@jdg.or.jp))までメールでお申込みください。

ドイツのニュースを取り上げ、読むだけでなく、背景となるドイツ事情を学ぶ独逸塾。ドイツ語初級文法を一

通り終えた方向けで（新聞記事には間接話法が多用されるため、接続法も習得されているとなお良いでしょう）、「お試し参加」、聴講のみも可能です。

#### ◇(対面) Brotzeit (ブロートツァイト)◇

日時：2024年5月31日(金) 18:30~20:30

会場：日独協会セミナールーム

会費：(公財)日独協会会員：2,500円 / 一般：3,500円 定員：20名

担当：高山 フロリアンさん

申込み：協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込みください。会費は事前にお振込み願います。

「Brotzeit」(直訳すると「パンの時間」)に参加しませんか？ドイツパンの多様な文化と独自の製法について一緒に学びましょう。研修生フロリアンさんは数年前から趣味でパン作りをしています。今回はフロリアンさんが自分で撮影した動画などを見せながらドイツパンの独特な作り方をお話しします。パン作りは意外と簡単ですよ。このイベントでは実際にドイツパンを何種類か試食します。(フロリアンさん手作りのパンもあるかも？)参加者みなさんにそれぞれの「パンの時間」を楽しんでいただけたらうれしいです。

#### ◇(対面) 第3回 ドイツの詩をドイツ語で朗読する集い◇

日時：2024年6月11日(火) 19:00~20:00 (18:30 開場)

開場：ベヒシュタイン・セントラム 東京ザール (東京都千代田区有楽町 1-5-1 日比谷マリビル地下1階)  
TEL. 03-6811-2925 (熊田)

会費：500円 (会場費として)

世話役：藤田 明氏 (日独協会評議員) TEL. 090-2523-5040

申込み：協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込ください。

ドイツ語が本来持っている言葉のリズム。そしてその柔らかな美しさを感じ、詩の情景に思いを馳せませんか？第3回目となる今回は、8編からなるシャミッソーの「女の愛と生涯」と、その他の詩を題材といたします。ご自身で朗読を希望される方のご参加も大歓迎です。

Wir laden Sie ganz herzlich zu unseren kommenden Veranstaltungen ein und bitten Sie, sich wie folgt anzumelden:

1. Wenn kein Veranstaltungsort erwähnt wird, findet die Veranstaltung online statt.
2. Eine Anmeldung muss zuerst erfolgen und wird in der eingegangenen Reihenfolge behandelt.
3. Bitte beachten Sie, dass wir sonntags und montags keine Anmeldungen oder Anfragen beantworten können.

Informationen zu den aktuellen Aktivitäten der JDG finden Sie jederzeit auf unserer Internetseite (<http://www.jdg.or.jp>).

E-Mail: [jdg@jdg.or.jp](mailto:jdg@jdg.or.jp) Tel.: 03-5368-2326 (Mo.-Fr. 14.00~17.00 Uhr) Fax.: 03-5368-2065

#### Sprachtreff (Online-Gruppentandem)

**Datum:** Samstag, 18. Mai 2024, 12.00-13.40 Uhr deutscher Zeit (19.00-20.40 Uhr japanischer Zeit)

**Beitrag:** Deutschsprachige Teilnehmer • Mitglieder der JDG Tokyo: kostenlos / Alle anderen: 2.000 Yen

**Anmeldung:** Über das Online-Formular auf unserer Website

Der Sprachtreff schafft eine einmalige Plattform für sprachinteressierte Leute jeden Alters, die Deutsch bzw. Japanisch lernen und sich über unterschiedliche Themen unterhalten möchten. Es werden maximal 40TN zugelassen, um die Gruppen klein zu halten. Wir bitten darum, sich zum Sprachtreff anzumelden, wenn ihr bereits in der Lage seid, euch aktiv an Gesprächen zu beteiligen, also etwa die Stufe A1.2 erreicht habt. Die Japanisch-Deutsche Gesellschaft freut sich auf eure Teilnahme!

#### Brotzeit

**Datum:** Freitag, 31. Mai 2024, 18.30-20.30 Uhr

**Ort:** Seminarraum der JDG

**Beitrag:** Deutschsprachige Teilnehmer • Mitglieder der JDG Tokyo: 2.500 Yen / Alle anderen: 3.500 Yen

**Teilnehmerzahl:** 20

**Anmeldung:** Über das Online-Formular auf unserer Website

※ Die Teilnahmegebühr ist im Voraus zu überweisen.

Die Japanisch-Deutsche Gesellschaft lädt sie herzlich ein, bei unserem „Brotzeit“-Event teilzunehmen. Lassen sie uns gemeinsam in die vielfältige deutsche Brotkultur eintauchen und etwas über die einzigartige Zubereitungsart von deutschem Brot lernen. Unser Praktikant Florian, selbst seit einigen Jahren Hobbybäcker, wird ihnen anhand eines Videos zeigen, wie einfach es eigentlich ist, deutsches Brot selbst zu backen. Außerdem werden sie die Möglichkeit erhalten, deutsches Brot zu kosten und gemeinsam mit den anderen Teilnehmenden ihre eigene Brotzeit zu gestalten. Wir freuen uns über ihre Teilnahme.